

鶴岡が誇る伝統の技

竹塗

たけぬり



花器

茶筒

竹を使わずに竹模様を
立体表現する竹塗の技

竹塗は、主に朴(ほう)、櫨(けやき)、檜(ひのき)などの木地に、竹が持つ独特の色合いや質感を立体的に表現する鶴岡を代表する漆器です。
本堅地(ほんかたじ)という漆を幾重にも塗り重ねて盛り上げる竹塗の技は、全国的に見ても希少で高度な技術として高い評価を得ています。
現代名工の手による竹塗の魅力、それは華やかさではなく贅沢なほどの素朴さにあるのではないのでしょうか。

伝統の技が創り出す 新たな美術工芸の世界

完成まで三十五工程を要する竹塗。

その真の価値は、目に見えない内側に潜んでいる。



文箱

くい呑み

茶盆

ボールペン

菓子皿

「物産大店でがんと」、「庄内空港」、「インターネット」などで購入できます。
竹塗製品は修理可能な場合が多いので、壊れた竹塗製品があれば是非ご相談ください。
なお、特注品の製作も承ります。

〒997-0831 山形県鶴岡市大西町16-9
竹塗工房 鈴木 Tel.0235-22-6534

仕込み杖の技術を
生活の道具へ応用

竹塗の始まりは、江戸時代に仕込み杖に施していた盛り上がり塗りを、明治初期に生活の道具に応用したものではありませんかといわれています。

以来、様々な生活道具が作られ、日常的に使用する道具として愛用されてきました。

また、明治三十年代の全盛期には、海外への輸出品としても注目されるようになりました。

新たな取組みが
始まっている！

現在では、鶴岡を代表する工芸品として、伝統的な茶筒や茶盆、硯箱、文箱などのほか、箸やボールペンといった生活小物などにも竹塗の技術を積極的に取り入れています。

また、二〇〇七年には試行錯誤を繰り返しながら、ガラスに漆を定着させることに成功。鶴岡の地元産業であるクリスタルガラスと竹塗のコラボレーション商品も誕生しています。

★竹塗教室のご案内

- ◎鶴岡市中央公民館
第一土曜日午後、
鶴岡市みどり町22-36
☎0235-25-1050
- ◎鶴岡市老人福祉センター
第一土曜日、第三土曜日午前、
鶴岡市馬場町13-2
☎0235-24-0066

※詳細は各会場に直接お問合せ下さい。

竹塗の箸 (ケース付)

抽選で5名様に
プレゼント!

●応募方法

本誌差込のハガキ、または、官製ハガキに、ご住所・電話番号・お名前・「竹塗の箸」希望と記入の上、下記までお送りください。
鶴岡ガス(株)「Hotひといき」編集部
〒997-0023 山形県鶴岡市鳥居町15-22

応募メ切：平成20年4月10日消印有効

当選発表は、6月発行予定「Hotひといき」第13号に掲載いたします。(当選者の方には直接ご連絡いたします。)

●取材協力プレゼント提供 竹塗工房 鈴木